

令和 6年 3月 5日

午前10時00分 受付

ひたちなか市議会議員 殿

ひたちなか市議会議員 23番 清水立雄

## 発 言 通 告 書

(代表質問)

事 項 ・ 要 旨	答 弁 者
<p>1. 令和6年度施政方針の緒言から</p> <p>(1) 「職住育近接」のまちづくりに、より多くの方に積極的にまちに関わってもらうことが重要と言っているが、どのように関わってもらうのか。</p> <p>(2) 本市の将来像を描く過程で、目指すべき方向性を明確にしているが、どのような手法で明確にするのか。</p> <p>(3) 市民の皆様に参加していただける取り組みを行うとしているが、どのようにして取り組んでもらうのか。</p> <p>(4) 様々なかたちでまちに関わる接点を作るといのがどのような形の接点か。</p> <p>2. 市民の安全安心な暮らしを守るまちづくりについて</p> <p>(1) 救援物資輸送路について</p> <p>(2) 盛土造成地の現地調査と第二次スクリーニングについて</p> <p>(3) 災害時における重要施設への配水管路について</p> <p>(4) 中丸川流域における浸水対策について</p> <p>(5) 東海第二発電所の再稼働問題について、原子力発電所所在地域の自治体として責任ある対応について</p> <p>(6) 安定ヨウ素剤の配布会について</p> <p>3. 生涯を通じていきいきと暮らせるまちづくりについて</p> <p>(1) 地域福祉について、コミュニティ組織や自治会等の関係者による協議の場づくりについて</p>	<p>市 長</p> <p>教 育 長</p> <p>水道事業管理者</p> <p>担当部長</p>

- (2) 高齢者の生きがいづくりについて
- (3) 地域包括支援センターについて
- (4) 基幹相談支援センターについて
- (5) ひたちなか総合病院における高度専門医療について

#### 4. 子育て世代に選ばれるまちづくりについて

- (1) 「子育て世代に選ばれるまち」を標榜しているが、他市町村と比較して、優位性はどのような点にあると考えているか。
- (2) 子ども・子育て支援施策の新たな指針となるこども計画について
- (3) ひたちなか市子ども家庭センターにおける相談・支援の現状について
- (4) 本市ならではの子育ての楽しみ方とは何か
- (5) 子どもふれあい館の活動状況と課題について
- (6) 長松子ども館の活動状況と課題について
- (7) コミュニティ・スクールについての議論の在り方と現状について

#### 5. 地域経済の活性化とにぎわいのあるまちづくりについて

- (1) 働く場の確保や多様な産業の活性化について
- (2) 農業における地域計画について
- (3) 漁業就業希望者について
- (4) お土産品をまとめて購入できる新たな場所の確保について
- (5) 「サイクリング DE ひたちなか」について
- (6) コンテナ貨物集荷促進事業について
- (7) 工業団地造成後の企業誘致について
- (8) 中小企業への支援について
- (9) 地域おこし協力隊の役割と人材について

#### 6. 快適で機能的な住よいまちづくりについて

- (1) 新中央図書館建設について
- (2) 中心市街地のエリア全体の整備計画策定について
- (3) 「スマイルあおぞらバス」については、利便性の向上を図っていくとしているが、スマイルあおぞらバスの利用困難な市民への対応について
- (4) ひたちなか海浜鉄道について

(5) 「再生可能エネルギービジョン」について

(6) 資源循環型まちづくりについて

7. 市民とともに知恵と力を合わせたまちづくりについて

(1) より多くの皆様に共感いただけるまちづくりについて

(2) まちづくりにかかわりたくなるような取り組みについて

(3) 「自治会×市民活動団体まちづくり café」について

(4) 自治会の持続可能な活動について

(5) 公共施設保全計画について

(6) 新庁舎建設の基本構想について

(7) マーケティングの推進について

(8) 第4次総合計画策定について